

編集後記

今年も、『哲学の探求』をみなさまのお手元にお届けする時期が参りました。2009年度テーマレクチャーをお引き受けいただいた3名の先生方と、フォーラム当日の発表を論文に仕上げてくださいました5名の個人研究発表者の方々のおかげで、大変読み応えのある論集となりました。執筆者のみなさまには、編集担当の至らなさに内心ひやひやなされたのでは…と思いますが、細かな質問にも丁寧にご対応いただき、心より感謝申し上げます。

さて、わたくし自身、編集担当に挙手をしたのはいいものの…右も左も分らぬまま、手探りで作業を行って参りました。その過程では、執筆者のみなさまはもとより、世話人のみなさんにも大変ご迷惑をおかけいたしました。一応は編集担当を名乗らせていただきましたが、実質は執筆者の方々との連絡窓口であり、『探求』第37号の刊行に漕ぎ着けましたのも、ひとえに周囲の方のご協力があつてのことです。この場を借りて御礼申し上げます。また、右も左も…の霧の中とはいえ、編集の面白みも（編集作業の最終期になってようやく！）感じる事ができました。なにより、みなさまの力作を最初に読ませていただくことができたのは、大変な役得だったと思います。

2010年度のフォーラムも、同じように素晴らしい議論の場となることでしょう。その結果生まれる数々の熱い論文を夢見つつ、第37号の編集後記とさせていただきます。

（編集担当 飯田奈津子）

哲学の探求 第37号

2010年6月1日 発行

編集

飯田 奈津子

発行

哲学若手研究者フォーラム

総務 萬屋 博喜

印刷・製本

平河工業社
